

# Aグループ：「近場」を楽しめる生活

《まとめシート》①タイトル ②目的 ③必要条件 ④詳細

- ①「I LOVE 姫路」と言えたらいいね
- ②地元民が楽しめる環境づくり
- ③・バスの拡充・おしゃれな喫茶店（モーニング？）
  - ・ワゴン販売（OLさんや観光客向けランチ）
  - ・大手前公園のイベントを若者向けに！
  - ・SNSで情報発信 OR フリーペーパー →個人の声が拡張されていない？
  - ・大学の立地をもっと都心部へ！！
  - ・山陽百貨店の食品売り場の拡充（イトインスペース）
  - ・城下町をアピール
- ④・若者が姫路に残ってくれること
  - ・市民が胸を張って自慢できる街づくり！！



## <交通インフラ>

- ・バス、電車の終了時間の延長と拡充→市内（駅前）の滞在時間、機会

## <見どころを増やす>

- ・古民家系の店舗を増やす
- ・山陽百貨店パワーアップ
- ・空きスペース（大手前通り）、大手前公園の有効活用、イベントを増やす

## <都市機能>

- ・JR姫路駅から姫路城に人が流れる仕組み

## 《ひめじ創生カフェVer.2：Aグループ発表まとめ》

私たちの班が考えたタイトルは、「I LOVE 姫路と言えたらいいね。」です。

これは、まず住んでる私たち市民が胸を張って自慢できる「まちづくり」をしていこうという内容です。そうすることによって結果的に他所から移住したり、若者たちの定住がはかれるのではないかといい風に思い、このタイトルをつけました。

まず自分たちが「まち」を愛するためにどういう風にしたら良いかということですが、交通インフラの拡充という点で、バス・電車の終了時間の延長、帰宅の手段がなかなか無いということ。姫路市といっても市域が広いので、駅前で飲んで帰って最終帰る手段が無いのでどうしても滞在時間が短くなる。

次に、見所があまり無いということ。「駅前の見所を増やしていこう」「古民家系の店舗を増やす」「空きスペース等大手前通りや大手前公園の有効活用」「イベントを増やしていく」＝「イベントについては若者向けのイベントをもっと増やしたらどうか」という意見が出ました。一例を挙げると、「陶器市」等も重要だとは思いますが、もっと10代・20代の方が大手前公園に寄ってくる仕組みづくりが非常に必要なのではないのか。

そして、姫路駅前で唯一の百貨店になってしまった、山陽百貨店のパワーアップ。現状、食品売り場があまり充実していないのではないかという意見が出ました。そこにイトインスペース等を設置して、もっと山陽百貨店にも集客ができれば、もっともっと駅前が賑わうのではないかということ。

後は、都市機能の充実です。JR姫路駅から姫路城へ人が流れる仕組みづくりが一番大事ではないかという意見が出ました。どうしても姫路城に行くまでに人が散ってしまい、最終、目的地は姫路城なのですが、それまでの「みゆき通り」であるとか「二階町商店街」へ人があまり集まっていないというのが実感としてあります。どうやって人が駅前から北へどンドン流れて行くのか？この仕組みづくりを、今後、考えていく必要があるのではないかなという意見が出ました。

このようなことをクリアし、地元民が他の市民、他の県外の人に対して、「私、僕、姫路に住んでるんやで。」と言えるようになれば、結果的に他の人も姫路にどンドン寄ってきてくれるのではないか。という結果になりました。

## 皆様からの投票・投稿アイデア

分野	アイデア番号	票数	問3 20年後のあなたの理想の生活スタイルを教えてください。	問4 問3で選んだ生活スタイルはどのような暮らしですか？ワーク1で記載した付箋を参考にしつつ、あなたの言葉で記入してください。	問6 理想の生活スタイルを実現するために、あなたがやろうとしていること、必要なことは何ですか？ワーク5で貼り付けた付箋を参考にアイデアを記入してください。複数ある場合は箇条書きにしてください	
住環境	21		「近場」を楽しめる生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事帰りに夫婦で気楽に飲みに行ったり、朝の散歩がてら落ち着いた喫茶店のモーニングに行く</li> <li>・車無しで生活と娯楽が完結する</li> <li>・姫路に居ながらにして日本中、世界中と繋がる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「地産地消」(地元を知り、地元を楽しむ)</li> <li>・流行らないと潰れるので好きな店に通う</li> <li>・姫路の素敵なところを日々探して発信する</li> <li>・情報を受信してイベントに参加する(SNS・広報誌・掲示物)</li> <li>・姫路は恵まれた地域であることを自覚する</li> <li>・歴史講義を活用する(公民館・県立歴史博物館・城郭研究センター)</li> <li>・地域の担い手として、秋祭りに参加する</li> <li>・生活の安定</li> </ul>	
			今の時代にあわせインスタ映えるカフェを発信し拡散してもらう			
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政による土地利用と建築基準の設定＋地域住民内のコンセンサスを取りまとめる仕組みづくり</li> <li>・イベントや取組みの継続性と頻度(続けられなきゃ根付かない)</li> <li>・実質賃金の向上(相対的に安く生活できるまち)</li> <li>・行政や文化施設を分散させない、小さくまとめる(科学館は遠い)</li> <li>・「ニュータウン」を作らない(同世代が同時に年を取っていくのは高リスク)</li> <li>・車社会との「決別」(「車を私有しない生活」からまちをデザインしてみる)</li> <li>・クラウドワークスのような在宅ワーカーと事業者を結ぶクラウドソーシングの活用推進(「通勤」からの解放)</li> </ul>			
			姫路の娯楽施設についてより詳しい説明が載っていてかつ読む人が「この場所に行ってみたい！」と思えるような地図等を作成する			
			地域の人が姫路の魅力を知ることができる機会や手段を増やす(SNS、地域の公民館で講演、小中学生の授業内で地域の魅力について考える時間を作るなど)			
			姫路のことをSNSで共有して、そばにある姫路をよく知る！			
			11	シェアリングサービスの普及		
			意見無し			
			意見無し			
					地産地消をテーマにしてInstagramなどで投稿を募集するなどイベントを起こし、姫路やその周辺の食べ物を身近に感じられるようにすること。	
			姫路の良さを理解し、地元の企業に就職し姫路を盛り上げる。			
			自分が安心できるコミュニティに所属する、もしくは自分でコミュニティをつくる。人間には所属欲求があるので、共感し合える仲間がいるかいないかが地域の幸福感に影響すると思う。			

# Bグループ：姫路独自の自然や農業に触れて暮らす生活スタイル

- 《まとめシート》 ①タイトル ②目的 ③必要条件 ④詳細
- ①ターミナル都市・姫路での豊かな暮らし
  - ②姫路に暮らす人々が「豊かさ」（経済的・精神的）を感じられる
  - ③・ターゲット→現在都市部に暮らす（将来の）ファミリー層
    - ・場所→市街地に暮らし、郊外に出かける
    - ・材料→高品質な農水産物、自然を楽しめる場所、交通アクセス、休日制度の充実
  - ④・貸し農園で借りた側が育てた農産物（例：いちご）を使ってイベント（いちご狩りとか）を行う
    - ・ヨーデルの森や森林公園等、住んでいる人に割引が受けられたり、南側のバスルート（自然体験コース等）が新設される
    - ・家島で漁業体験、自分で獲った魚で料理教室をしたりお店に新メニュー提案できる（クックパッドのような）

《ひめじ創生カフェVer.2：Bグループ発表まとめ》

悩んだ挙句「ターミナル都市姫路での豊かな暮らし」、サブタイトルとして「都市型自然体験のすすめ」というタイトルをつけました。

目的としては、姫路に暮らす人々が豊かさを感じられる状態。

加古川出身・姫路出身・相生出身とさまざまな出身地の方と議論を深めていましたが、もとのタイトルが「姫路独自の自然や農業に触れて暮らす生活」で、「姫路独自って何だろう？」ということを特に話し合いました。

その結果、姫路は比較的都市機能も充実している。また少し足を伸ばせば、郊外の自然も充実しているということで、特に「都市部に暮らす将来のファミリー層」、「これから家族になっていく人たち」、「経済的に豊かな人・ある程度豊かな人たちが、ふと自然が恋しくなってくるようなこともあるのではないのかと思いました。

次に、現在、都市部に暮らす人たちをターゲットにして、市街地に暮らし、休日に郊外に出かけるというライフプランを提案したいと思います。

材料としては、高品質な農水産物＝「播磨産の農水産物は、すごく品質が高い」、「自然を楽しめる場所もある」という風に聞いています。

そしてこれからの整備としては、交通アクセス。また、土・休日の過ごし方を持続できる休日制度の充実をはかっていくことが必要ではないかと思っています。

具体的なアイデアとしては、貸農園を営んで、借りた側が育てた農作物＝「いちご」等を使ってのイベント。例えば「いちご狩り」に提供する。

「ヨーデルの森」や「森林公園」等、姫路に住んでいる人に割引・優待が受けられる。

また、北側は比較的交通網が充実していると思いますが、南側の交通網をもっと充実させたら良いのではないかという意見が出ました。

後は、「家島で漁業体験」、家島は漁業のまちという風に聞いていますので、そういうところで自分の獲った魚で料理教室をしたり、お店に提供して新メニューを提案できるというような、都市で暮らしながら、土・休日は自然にふれあえるような「ハイブリッドなまち、姫路」というのが魅力的なまちなのではないかと思いました。

## 皆様からの投票・投稿アイデア

分野	アイデア番号	票数	問3 20年後のあなたの理想の生活スタイルを教えてください。	問4 問3で選んだ生活スタイルはどのような暮らしですか？ワーク1で記載した付箋を参考にしつつ、あなたの言葉で記入してください。	問6 理想の生活スタイルを実現するために、あなたがやろうとしていること、必要なことは何ですか？ワーク5で貼り付けた付箋を参考にアイデアを記入してください。複数ある場合は箇条書きにしてください
自然環境	12		姫路独自の自然や農業に触れて暮らす生活スタイル	地産地消で子どもの食育ができたり、地域との関わり、絆作りのきっかけとなるコミュニケーションの場にしたり、都会の暮らしの良さと、田舎の暮らしの良さが融合した住みやすい街をイメージしています。	貸し農園で作ったフルーツで、手作りジャムを作り、お城前のファーマーズマーケットやネット販売をする。子どもの自由研究に近所の自然と触れ合える公園内のコテージで一泊二日し、姫路の自然環境について知る。姫路出身の芸能人やSNSの有名人と地産地消のお店を一緒にまわり、SNSで発信する(それがファンくるようなバイトに繋がると面白い)。三田市にあるワシントン村のようなアメリカンスタイルな住宅地が開発され、その住宅地内でクリスマスマーケットを企画し、農産物を使った料理を出したり、姫路の自然を使ったオリジナルリースのワークショップを行う。
			意見無し		
			保育園や小学校で農業について、直接農家さんから学ぶ時間をもつ。地元食品メーカーとタイアップしてブランド力の高い商品を開発する。婚活イベントを絡めて、新たな出会いの場としてイベントを開催。		
			農業体験ができる場所を増やす		
			地域の商品をブランド化する		
			地場産業従事者への助成金の交付		
		意見無し			

# Cグループ：夢を応援したい。/姫路を活性化させる生活スタイル

《まとめシート》 ①タイトル ②目的 ③必要条件 ④詳細

①外国人観光客がもっと増える街づくり

②姫路にもっと滞在してもらう街づくり

③・姫路城以外の観光スポットをアピールする

- ・インスタ映えするモノ
- ・スポットめぐりをするための交通手段（無料バス等）を増やす
- ・姫路文化（和）をもっと発信する

④・姫路の広い土地を活用する

- ・姫路の美味しいものを駅近・姫路城沿いで手に入るようにする（フードコートなど）
- ・色々な言語で案内できるアドバイザーを街中に置く
- ・学生のボランティアやバイトを通して姫路文化を伝える
- ・姫路城、駅などに姫路スポットのマップを置く
- ・夜の姫路をPRする（ライトアップイベントなど）  
→宿泊してもらう

《ひめじ創生カフェVer.2：Cグループ発表まとめ》

「姫路を活性化させるスタイル」のテーマをもとに、「外国人観光客がもっと増える街づくり」というタイトルをつけました。

最近、外国の方がすごく増えていて、特にヨーロッパの方が姫路城を観に行くケースをよく見かけます。そして、姫路を姫路城を観てそのまま帰ってしまうということをよく聞きます。

観光客が増え、もっと滞在してもらう街づくりっていうことができれば、姫路をもっと活性化させることができるのかなと思います、ここを深掘りして議論していきました。

姫路にもっと滞在してもらうために、何が条件として必要なのかと考えた時、姫路城がどうしても観光スポットとして一強なので、それ以外の観光スポットであるとか、インスタ映えするものをもっとアピールしていく必要があると思います。

次に、スポット巡りをするにしても、姫路は市として大きいので交通手段をもっと増やしていく必要があること。例えば、無料のバスを運行するなどという意見が出ました。

また、ヨーロッパの方は、アジアの方に比べて買い物目当てというよりは、日本の文化を知りたくて観光に来ることが多いと思うので、日本の文化、姫路の文化をもっと発信していく必要があるのかなということも条件として挙げました。

アイデアの詳細としての一つ目は、姫路城、またそれ以外の観光スポットも案内できるアドバイザーを街の中のいたる所に配置する。シャッターの商店街等を利用して、学生等のボランティアのアドバイザーを道沿いに居てもらい、外国人の方の言語で答えるようなことを通して、もっと文化を伝えていく必要があるという風に思いました。

二つ目が、姫路城以外のスポットを案内するにあたって、姫路城のところに案内所等を置き、姫路城からもっと導線を上げられるような案内すること。

また、姫路の夜の良さ、姫路城の夜の良さをPRするためにライトアップイベントなど夜のイベントを知ってもらい、宿泊をしてもらうようなPRもアイデアの詳細として出ました。

## 皆様からの投票・投稿アイデア

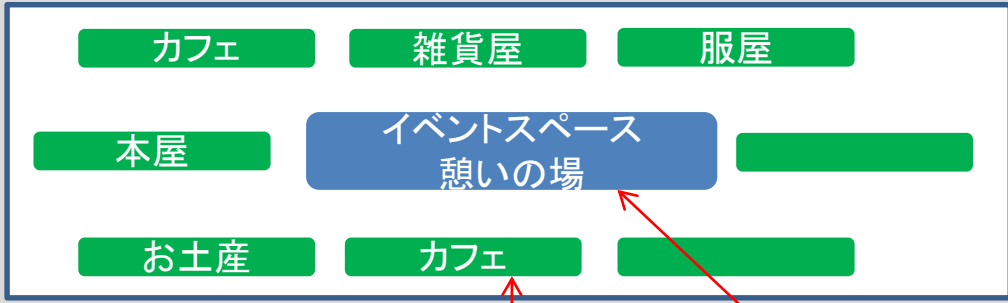
分野	アイデア番号	票数	問3 20年後のあなたの理想の生活スタイルを教えてください。	問4 問3で選んだ生活スタイルはどのような暮らしですか？ワーク1で記載した付箋を参考にしつつ、あなたの言葉で記入してください。	問6 理想の生活スタイルを実現するために、あなたがやろうとしていること、必要なことは何ですか？ワーク5で貼り付けた付箋を参考にアイデアを記入してください。複数ある場合は箇条書きにしてください	
地域おこし	23		夢を応援したい。	夢にチャレンジできるフォトジェニックな生活	シャッター街となりつつあるみゆき通りやおみぞ筋商店街で、期間限定の補助金を出して開業を夢見る若者が店舗を経営する。 経営のノウハウを学べる空間を格安で提供する。 税理士や社労士とも連携し、経営者のサポートも行き、将来市内に店舗を持ってもらう。 誰もが憧れるものの、金銭的理由であきらめる一等地での出店の夢を叶え、資金を貯めてもう一度商店街へ戻ってきてもらいたい。	
		4	産官学金労言の連携強化			
			若者が新店舗を経営するための補助制度をより充実させる。金銭的な面だけでなく、地域の中にスムーズに溶け込めるように、地域の人との橋渡し役や相談役もいったことも必要だと思う。			
			23の方が考えている実現に向けたアイデアが行われているということを多くの人に知ってもらう為、情報広める。			
			意見無し			
	24			姫路を活性化させる生活スタイル	姫路を活性化させる生活スタイル	・地元の企業やイベント会社、旅行代理店と協力し野里街道やシャッター商店街を活気付けるイベントを開く ・イベント会社や地元の飲食店と協力し大手前通りで食べ歩きイベントを開く ・播州地域の漁師や農家の方と協力し播州地域の食材を使ったラーメンを作る。 またそれをお土産で販売する。
		5	ご当地アイドル、krd8をもっとたくさんの人に知ってもらう			
			産官学金労言の連携強化			
			・初期投資が少なく起業できる環境の整備(キッチンカーの利用促進等) ・後継者不足の会社・店の事業継承による低リスクの就職・起業の枠組み作り			
			意見無し			
		産物を生かした料理イベントの実施				

# Dグループ：フォトジェニックな空間でクリエイターとの空間共有

## 《まとめシート》 ①タイトル ②目的 ③必要条件 ④詳細

- ①姫路城に次ぐ県内外を魅了する古民家街
- ②・姫路内外から若い人を集める
  - ・古いモノを生かす
- ③・場所の確保（空き家が集まったエリア）
  - ・リノベーション費用（助成金、スポンサー）
  - ・ネットワーク
  - ・広告（インフルエンサー）
  - ・導線（バス？姫チャリ？交通手段）

### 歴史ある箱（エリア）



夜はバル ワークショップもたまに開催

→人を集める→街の活性化→住みたい街になる

## 《ひめじ創生カフェVer.2：Dグループ発表まとめ》

「姫路城に次ぐ県内外を魅了する古民家街」というタイトルをつけました。目的ですが、姫路市の中からはもちろん、外からでも若い人等を増やして人口減少を止めていくようにということ。

古いものを活かすということで、古民家をフォトスタジオであったり、カフェとして活用していくことで、もともとあったものを活かし、経費削減含め、古き良きものを少しでも残していけたらということでも挙げました。

必要な条件は、場所の確保として、空き家や古民家が集合している場所を改築していく、使えるようにしていく費用は、市や行政からの助成金であったり、応援してもらえるようなスポンサーが必要になってくると思います。

また、こういう場所があるんですよ。ということを広げていく広告であったり、インスタグラムであったり、ツイッターであったりという宣伝。

後、そこに至るまでの導線。これは交通手段になりますが、ループバスを出すのか、自転車を出すのか。そこも少し考えていかないといけないのかなと思います。

アイデアの詳細は、他の班ではあまり見られない、今回、イラストで描かせていただいています。「カフェ」とか、「本屋さん」とか、「お土産屋さん」とか、そういうひとつの「まち」をつくって、真ん中には「イベントができたり」とか、「皆が休んだりできる憩いの場」をつくり、「ワークショップ」等も、時々開くことができたということでも描かせてもらいました。

そして足を運んでもらって、「フォトジェニック」というのが、もとの題に挙がっていましたが、どこを撮っても写真映えるような、情緒あふれる「街並み」をつくり、それを見ていいな。ここに行ってみたいな。という風に思ってもらい、どんどん人を集めて、賑やかにして、ここに住んでみたいな。という風に思ってもらえる「まち」をつくっていけたらなという思いで書かせてもらいました。

## 皆様からの投票・投稿アイデア

分野	アイデア番号	票数	問3 20年後のあなたの理想の生活スタイルを教えてください。	問4 問3で選んだ生活スタイルはどのような暮らしですか？ワーク1で記載した付箋を参考にしつつ、あなたの言葉で記入してください。	問6 理想の生活スタイルを実現するために、あなたがやろうとしていること、必要なことは何ですか？ワーク5で貼り付けた付箋を参考にアイデアを記入してください。複数ある場合は箇条書きにしてください
建築	1	5	フォトジェニックな空間でクリエイターとの空間共有	古民家を改修し、伝統的建築物に暮らしつつ仕事をする。この家はフォトスタジオとしても開放し、カメラマンや写真が好きな人たちがフォトジェニックな撮影ができる場としても活用することで、1人でも一軒家を借りる空き家利用を目指す。	古民家探して十分な情報が得られる専用サイトの構築。古民家を利用しスペース共有してくれる人への助成金付与。クリエイターと出会う交流ネットワークの創造。
			古民家をフォトスタジオとして使うだけでなく、外国人観光客向けのカフェとして開放してみる		
			若者も惹き付けられるように流行りも取り入れると良いと思う。		
			・行政による土地利用と建築基準の設定＋地域住民内のコンセンサスを取りまとめる仕組みづくり ・まちのスプロール現象の阻止 ・姫路中心部のまちのステータスの向上（経済面・文化面） ・職住一致の生活の再生（個人と地域の利害の不一致の是正）		
			環境と生活が一体化をする		
			集まった人たちが交流が深めれる空間作り		

# Eグループ：グルメを堪能する生活スタイル

- 《まとめシート》 ①タイトル ②目的 ③必要条件 ④詳細
- ①姫路のファンを食でとりこめ！
  - ②美味しいモノを食べて姫路の第1次産業活性化
  - ③ A：地元のものをメインに扱った店舗が集まる複合施設をつくる
    - 幅広い世代が農業等にチャレンジできる環境づくり
    - B：地元の人+他の地域の人にも姫路の食を知ってもらう
      - 姫路でフードフェスを開催する
      - ファーマーズマーケットの開催
  - ④ A：商店街等をリノベーションして複合施設をつくる
    - レンタル農園や農業漁業都市
    - B：播磨の食材をメインとしたフードフェス
      - 姫路城などでフェスを開催する

《ひめじ創生カフェVer.2：Eグループ発表まとめ》

私たちの班は食をテーマに議論を進めましたが、アイデアのタイトルとして「姫路のファンを食でとりこめ！」というテーマにしました。

目的としては、おいしいものを食べて、且つ姫路の第一次産業の活性化につなげようということを決めました。

必要条件として、ひとつは、地元のをメインに扱った店舗が集まる複合施設をつくるということ。

そしてこれを満たすための手段として、幅広い世代が農業などにチャレンジできる環境づくりがまず必要ではないかと考えました。

二つ目は、地元の人と、更には他の地域の人にも姫路の食を知ってもらうという条件を考えました。

必要条件を満たす条件として、「姫路でフードフェスを開催」したり、「ファーマーズマーケットの開催」をすることで、姫路の食材や名物を知ってもらう機会を増やすことを考えました。

アイデアの詳細としては、商店街と広い面積にはなりますが、リノベーションすることによって複合施設をつくるということ。

これは肉であったり、姫路の、播州の名物を集めた店をつくるということです。

後は、レンタル農園や農業とか漁業をしやすい都市をつくるということを考えました。

また、「播磨の食材をメインにしたフードフェスを開催しよう」という案が出ましたが、これは姫路城などでフェスを開催し、姫路城の前にある広場等で開催するのが一番良いのではないかと考えました。

## 皆様からの投票・投稿アイデア

分野	アイデア番号	票数	問3 20年後のあなたの理想の生活スタイルを教えてください。	問4 問3で選んだ生活スタイルはどのような暮らしですか？ワーク1で記載した付箋を参考にしつつ、あなたの言葉で記入してください。	問6 理想の生活スタイルを実現するために、あなたがやろうとしていること、必要なことは何ですか？ワーク5で貼り付けた付箋を参考にアイデアを記入してください。複数ある場合は箇条書きにしてください
食事	22		グルメを堪能する生活スタイル	いろんなジャンルの美味しいものを姫路で味わいたい。隠れた名店に陽の目が当たり、グルメの街として活気づいている街に住みたい。	大手前通りを歩行者天国にして、大規模なグルメフェスを開催し、食べ歩きが出来るようなイベントをする。
		4	グルメ情報専用のSNSサイト開設。外国語に対応できない店員のために、翻訳アプリ等で食品を写せば、アレルギーや商品の詳細などが外国語で表示されるなど簡単に意思疎通が成立するようにする。新たなご当地グルメの創出。		
			姫路で食べ物のイベントを開催する		
			地産地消を売りにした飲食店の設立		
			姫路の美味しいものをSNSや広告紙・掲示物に掲載する。		